



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月27日

上場会社名 丸八証券株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8700 URL <https://www.maruhachi-sec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里野 泰則
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 マネジメント本部長 (氏名) 津坂 聡 TEL 052-307-0850
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,434	17.0	1,428	17.6	222	285.2	294	209.1	196	161.8
2020年3月期第2四半期	1,225	△15.3	1,214	△15.6	57	△78.8	95	△65.9	75	△66.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	49.36	—
2020年3月期第2四半期	18.85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	自己資本規制比率
	百万円	百万円	%	円 銭	%
2021年3月期第2四半期	9,406	6,873	73.1	1,722.22	719.7
2020年3月期	8,698	6,752	77.6	1,691.73	742.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,873百万円 2020年3月期 6,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 金融商品取引業は、業績を適正に予想することが困難なため、配当予想額は未定としております。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は業績予想を開示していません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	4,042,970株	2020年3月期	4,042,970株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	51,791株	2020年3月期	51,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,991,179株	2020年3月期2Q	3,991,179株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、「3. 2021年3月期の業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示を行っておらず、配当予想につきましても開示を行っておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
2021年3月期 第2四半期決算資料	7
(1) 受入手数料	7
(2) トレーディング損益	8
(3) 自己資本規制比率	8
四半期損益計算書の推移表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が一部の地域から全都道府県へ拡大されるなど、極めて厳しい状況下で始まりました。感染拡大の防止策および政策対応が講じられたことで、落ち着きを取り戻す動きとなっていますが、感染第2波への懸念は払拭されておらず、金融市場の変動等の影響を注視すべき状態が続いています。

世界の株式市場は、原油先物価格の一時的急落を受けて下落する場面もありましたが、米欧での新型コロナウイルス感染拡大がピークを越えたとの見方から主要先進国が経済活動の再開に動き出すとの期待感や主要経済指標の改善が相次いだこと、各国の大規模な財政・金融政策などを背景に、リスク選好的な動きが続き、米国ではS&P500指数をはじめ主要指数が史上最高値を更新しました。また、経済指標の改善や米国企業の4-6月期決算が事前予想を上回ったこと、ワクチンの早期開発期待などが相場を押し上げました。一方で、9月に入ると、テクノロジー関連株を中心に高値警戒感などから調整色が強まりました。加えて、米中対立の激化や追加経済対策の成立の遅れが嫌気され、リスク回避的な動きが見られました。

こうしたなか、当第2四半期の国内株式市場では、日経平均株価は18,686円でスタートし、当初は新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす景気への影響に対する警戒感が強く、弱含みの推移を余儀なくされていたものの、感染防止策および政策対応が功を奏し次第に日経平均株価は戻り歩調を強める動きとなりました。5月下旬に緊急事態宣言が解除されたことに加え、事業規模で117兆円を超える2020年度第2次補正予算案も相場を押し上げる材料となりました。また、安倍首相の辞任を受け、日経平均株価は一時的に下落する局面もありましたが、財政政策と金融政策の大幅な変更はないとの見方から下落前の水準に戻り、9月29日には期間内高値となる23,622円をつけるなど堅調な動きを見せ、日経平均株価は23,185円で当第2四半期を終えています。

このような状況のもと、当社はお客様の利益の最大化と堅実な資産形成を最重要事項と位置付け、役職員の資質向上に努めるとともに、地域に密着したお客様本位の営業を展開いたしました。具体的には、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業員による顧客訪問の自粛などの対応を行う中、お客様の資産運用・財産形成にお役立ていただくために、電話およびDMに加え8月末よりWebを利用したセミナーの配信を開始するなど、情報提供をより一層強化し、中長期で成長の見込まれるAI・IoTなどの第4次産業革命関連を中心に米国株式、国内株式および投資信託の提案営業を継続的に推進しました。

以上の結果、当第2四半期の業績の概要は次のとおりとなりました。

①純営業収益

・受入手数料

株式の委託手数料は4億68百万円(前年同期比87.6%増)となり、債券および受益証券を含めた委託手数料の合計は4億94百万円(同88.9%増)となりました。

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料が増加したことにより2億19百万円(同1.8%増)となりました。

また、その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬の減少などにより60百万円(同8.1%減)となり、受入手数料は全体で7億74百万円(同42.6%増)となりました。

・トレーディング損益

株券等トレーディング損益は外国株式の取引による収益が増加したことなどにより4億16百万円の利益(同64.0%増)となりました。債券等トレーディング損益は、外貨建債券による収益が減少したことにより2億7百万円の利益(同47.0%減)となり、トレーディング損益は全体で6億24百万円の利益(同3.3%減)となりました。

・金融収支

金融収益は35百万円(同3.7%減)、金融費用は5百万円(同52.5%減)となり、金融収支は30百万円(同17.2%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期の純営業収益は14億28百万円(同17.6%増)となりました。

②販売費・一般管理費

事務費が24百万円増加し2億20百万円(同12.4%増)人件費が19百万円増加し7億11百万円(同2.8%増)となったことなどにより、販売費・一般管理費は49百万円増加し12億6百万円(同4.3%増)となりました。

③営業外損益

営業外収益として、投資有価証券売却益および受取配当金などにより71百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期の経常利益は2億94百万円(同209.1%増)、四半期純利益は1億96百万円(同161.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期末の資産合計は、2020年3月末(以下、前期末)に比べ7億8百万円増加し94億6百万円となりました。その主な要因は、現金・預金が2億円減少したものの、信用取引資産が4億2百万円、トレーディング商品が3億4百万円、預託金が1億52百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

②負債

当第2四半期末の負債合計は、前期末と比べ5億86百万円増加し25億32百万円となりました。その主な要因は、預り金が3億39百万円、信用取引負債が1億28百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第2四半期末の純資産合計は、前期末と比べ1億21百万円増加し68億73百万円となりました。その主な要因は、配当金1億19百万円を支払ったものの、四半期純利益1億96百万円を計上、その他有価証券評価差額金が44百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	3,812,465	3,612,438
預託金	847,914	1,000,000
顧客分別金信託	847,914	1,000,000
トレーディング商品	—	304,220
商品有価証券等	—	304,220
約定見返勘定	124,000	159,889
信用取引資産	2,105,984	2,508,328
信用取引貸付金	2,104,546	2,455,813
信用取引借証券担保金	1,438	52,514
立替金	1,497	1,107
顧客への立替金	1,487	1,107
その他の立替金	10	—
短期差入保証金	170,000	170,000
前払費用	25,901	18,461
未収収益	69,309	87,167
その他の流動資産	2,704	6,834
流動資産計	7,159,778	7,868,446
固定資産		
有形固定資産	77,454	95,899
建物	37,956	63,648
器具備品	26,033	32,251
土地	13,464	—
無形固定資産	666	1,061
電話加入権	666	666
ソフトウェア	—	395
投資その他の資産	1,460,588	1,441,123
投資有価証券	1,031,820	1,023,497
関係会社株式	2,000	2,000
出資金	1,520	1,520
従業員に対する長期貸付金	2,820	2,217
長期差入保証金	350,313	342,384
長期前払費用	251	427
繰延税金資産	41,527	39,942
その他	48,335	47,135
貸倒引当金	△18,000	△18,000
固定資産計	1,538,709	1,538,085
資産合計	8,698,487	9,406,532

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	506,652	635,045
信用取引借入金	497,545	540,873
信用取引貸証券受入金	9,106	94,171
預り金	1,013,587	1,352,874
顧客からの預り金	703,974	503,525
その他の預り金	309,612	849,349
受入保証金	204,880	228,872
前受金	2,380	—
未払金	28,842	23,056
未払費用	82,327	100,413
未払法人税等	23,837	104,180
賞与引当金	61,950	74,600
その他の流動負債	—	59
流動負債計	1,924,458	2,519,102
固定負債		
資産除去債務	8,296	—
その他の固定負債	1,000	1,000
固定負債計	9,296	1,000
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	12,729	12,729
特別法上の準備金計	12,729	12,729
負債合計	1,946,484	2,532,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,751,856	3,751,856
資本剰余金	336,225	336,225
利益剰余金	3,103,340	3,180,595
自己株式	△113,656	△113,656
株主資本合計	7,077,765	7,155,021
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△325,762	△281,320
評価・換算差額等合計	△325,762	△281,320
純資産合計	6,752,002	6,873,700
負債・純資産合計	8,698,487	9,406,532

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
受入手数料	542,880	774,179
委託手数料	261,699	494,411
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	215,882	219,758
その他の受入手数料	65,298	60,009
トレーディング損益	645,953	624,536
金融収益	36,826	35,463
営業収益計	1,225,660	1,434,179
金融費用	11,031	5,235
純営業収益	1,214,629	1,428,943
販売費・一般管理費	1,156,863	1,206,421
取引関係費	116,530	117,018
人件費	692,003	711,391
不動産関係費	92,930	99,668
事務費	195,933	220,231
減価償却費	10,739	11,798
租税公課	23,769	25,371
その他	24,957	20,941
営業利益	57,765	222,522
営業外収益		
投資有価証券売却益	22,523	39,254
受取配当金	14,038	19,938
受取返戻金	—	10,125
その他	1,044	2,291
営業外収益計	37,605	71,610
営業外費用		
その他	232	89
営業外費用計	232	89
経常利益	95,139	294,043
特別利益		
投資有価証券売却益	4,833	1,968
取引参加者協会清算分配金	13,706	—
特別利益計	18,539	1,968
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8,363
固定資産除却損	—	1,435
特別損失計	—	9,798
税引前四半期純利益	113,678	286,213
法人税、住民税及び事業税	34,888	87,637
法人税等調整額	3,549	1,584
法人税等合計	38,437	89,222
四半期純利益	75,241	196,991

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

2021年3月期 第2四半期決算資料

(1) 受入手数料

① 科目別内訳

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
委託手数料	261,699	494,411	188.9	702,945
(株券)	(249,824)	(468,623)	(187.6)	(664,812)
(受益証券)	(11,874)	(25,788)	(217.2)	(38,133)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	215,882	219,758	101.8	394,011
(債券)	(8,308)	(43)	(0.5)	(19,143)
(受益証券)	(207,574)	(219,715)	(105.8)	(374,868)
その他の受入手数料	65,298	60,009	91.9	120,299
(株券)	(1,470)	(1,958)	(133.2)	(3,008)
(債券)	(7)	(8)	(114.8)	(30)
(受益証券)	(62,925)	(56,945)	(90.5)	(115,507)
(その他)	(894)	(1,095)	(122.4)	(1,753)
合計	542,880	774,179	142.6	1,217,256

② 商品別内訳

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
株券	251,295	470,582	187.3	667,820
債券	8,315	51	0.6	19,174
受益証券	282,374	302,450	107.1	528,509
その他	894	1,095	122.4	1,753
合計	542,880	774,179	142.6	1,217,256

(2) トレーディング損益

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
株券等	254,226	416,988	164.0	559,173
債券等	391,726	207,547	53.0	554,733
合計	645,953	624,536	96.7	1,113,907

(3) 自己資本規制比率

(単位：百万円)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前事業年度末
固定化されていない自己資本の額 (A)	6,411	6,317	6,077
リスク相当額 (B)	1,127	877	818
市場リスク相当額	368	228	177
取引先リスク相当額	170	67	55
基礎的リスク相当額	588	582	585
自己資本規制比率 (A) / (B) × 100 %	568.5	719.7	742.8

四半期損益計算書の推移表
 損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自2019. 7. 1 至2019. 9. 30	前第3四半期 自2019. 10. 1 至2019. 12. 31	前第4四半期 自2020. 1. 1 至2020. 3. 31	当第1四半期 自2020. 4. 1 至2020. 6. 30	当第2四半期 自2020. 7. 1 至2020. 9. 30
営業収益	606	664	530	667	766
受入手数料	293	342	331	389	385
トレーディング損益	290	301	166	265	359
金融収益	22	21	32	13	22
金融費用	7	6	18	3	1
純営業収益	599	657	512	664	764
販売費・一般管理費	580	575	571	597	608
取引関係費	59	54	60	56	60
人件費	349	341	340	343	367
不動産関係費	44	46	41	54	45
事務費	97	98	100	112	107
減価償却費	5	6	8	6	5
租税公課	12	15	9	12	12
その他	10	11	9	11	9
営業利益	18	82	△58	66	156
営業外収益	14	75	33	41	30
営業外費用	△0	0	△0	0	△0
経常利益	33	157	△24	106	187
特別利益	18	—	—	—	1
特別損失	—	—	27	9	0
税引前四半期純利益	51	157	△52	97	188
法人税、住民税及び事業税	33	31	△11	13	74
法人税等調整額	△15	18	△21	16	△15
四半期純利益	34	107	△19	67	129